

日本救急医学会関東地方会
2023年度幹事会 議事次第

2023（令和5）年2月18日（土曜）13：30～14：30

会場：京王八王子プラザホテル 第1会場(翔王B)

議事録署名人の確認

井上常任幹事長

新幹事推薦（審議資料2）

物故会員黙祷

報告事項

1.	2022年度庶務報告	報告資料1	中村常任幹事
2.	2022年度決算報告	報告資料2	中村常任幹事/監事
3.	第73回（令和5（2023）年） 日本救急医学会関東地方会	報告資料3	畝本会長
4.	救急隊部会・関東MC連絡会議	報告資料4	畝本常任幹事
5.	関東災害連絡会議	報告資料5	根本常任幹事
6.	編集委員会	報告資料6	根本常任幹事
7.	第74回（令和6（2024）年） 日本救急医学会関東地方会	報告資料7	根本次期会長
8.	SOS-KANTO委員会・多施設研究委員会	報告資料8	中田常任幹事
9.	日本救急医学会学生研修医部会 関東支部	報告資料9	中田常任幹事
10	ホームページ	報告資料10	中田常任幹事
11	看護部会	報告資料11	浅香常任幹事

審議事項

1.	2023年度予算案	審議資料1	中村常任幹事
2.	名誉会員推戴	審議資料3	井上常任幹事長
3.	第75回（令和7（2025）年） 日本救急医学会関東地方会	審議資料4	井上常任幹事長
4.	その他	審議資料5	事務局

新幹事候補者リスト

	候補者名	所属	出身大学/最終学歴	卒業年	資格 (会費 完納)
1	ひらやま いちろう	国立病院機構 埼玉病院 救急科	東京大学大学院医学系 研究科 外科学専攻 医学博士課程	2022年 3月	○
	平山 一郎				
推薦者 (2名)	上條 吉人 (埼玉医科大学 医学部臨床中毒科) 鈴木 昌 (東京歯科大学 市川総合病院 救急科)				

立候補〆切：2022年12月30日(金) (必着)
2022/2021/2020年3年分完納

2022 年度 庶務報告

庶務担当 中村光伸

■
総会員数：1,113 名（新会員 95 名）（2022 年 12 月 31 日時点）

名誉	45 名	（新規推戴 3 名含※1）
幹事	346 名	
一般	722 名	
医師	891 名	新会員 62 名※3
看護師	164 名	新会員 25 名
薬剤師	2 名	
診療放射線技師	1 名	
ME	2 名	新会員 1 名
救急救命士	38 名	新会員 6 名
その他※4	15 名	新会員 1 名

※1 2023 年 2 月 18 日幹事会承認予定

※2 新会員数は 2022 年 1～12 月入会手続き者数

※3 救急科専門研修専攻医プログラム初年度による年会費免除者：17 名

※4 救命士以外の消防職員、管理栄養士、図書館司書、臨床心理士、看護学生、助産師等



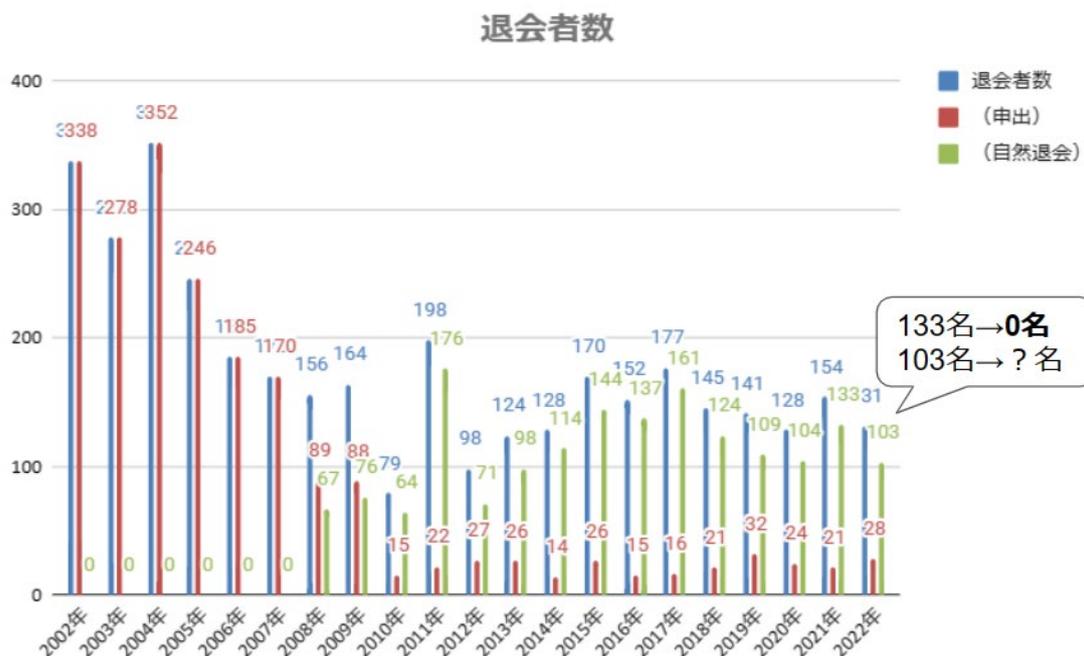
退会者：131名（うち申出28名）

名誉（医師）	3名
幹事（医師）	3名
一般（医師）	18名
一般（医師以外）	4名

※（2020年度・2021年度未納）・・・自然退会 0名

※（2021年度・2022年度未納）・・・自然退会対象 103名

103名のうち、送信エラー／宛先不明 18名→2023年度に【再送】85名を予定



会員のご逝去（退会者数に含む）

- 石田 清先生（いしだ きよし 名誉）
- 高橋 愛樹先生（たかはし よしき 名誉）
- 野口 照義先生（のぐち てるよし 名誉）
- 松橋 亘先生（まつはし わたる 幹事）

以上

■

日本救急医学会関東地方会 2022年度決算報告書
(2022年1月1日～12月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
会費収入	6,400,000	5,229,780	-640,220	幹事：10,000円・一般：5,000円
当年度・過年度収入		1,110,000		幹事 286 名 一般 470 名
当年度未入金		4,100,000		
前受会費収入		5,000		2023年前受 一般 1名
その他不明会費収入		14,780		会員マイページ上に登録なし不明(一般2名)・差し手数料を負担せず差込した新幹事差額分(1口4780円)
雑収入	450,010	1,806,080	1,356,070	
広告掲載料	0	0		
銀行預金利息	10	12		ゆうちょ利息0円・銀行利息6円×2回
地方会補助金	200,000	200,000		日本救急医学会
その他(1)	50,000	14,000		43巻3号(全28ページ)別刷代
その他(2)	200,000	4,000		看護部会シンポジウム参加費
その他(2)未入金		32,000		
その他(3)	0	947		寄付金：第72回学術集会余剰金
その他(4)	0	1,555,121		寄付金：第68回学術集会余剰金
収入合計	6,850,010	7,035,860	715,850	

2022年度会費収入内訳書

当年度・過年度収入計				¥5,210,000
会費収入(幹事)	2022年	10000	255口	2550000
	2021年	10000	25口	250000
	2020年	10000	4口	40000
	2019年	10000	1口	10000
	それ以前	10000	1口	10000
				286
会費収入(一般)	2022年	5000	421口	2105000
	2021年	5000	35口	175000
	2020年	5000	12口	60000
	2019年	5000	1口	5000
	それ以前	5000	1口	5000
				470
その他・不明金会費				¥14,780
	新幹事差額分(振込手数料分不足)	4780	1名	¥4,780
	会員マイページ上に登録なし不明2名	5000	2名	¥10,000
前受金				¥5,000
	2023年	5000	1口	5000

【支出の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
事業費	5,130,000	2,879,028	2,250,972	
刊行費	2,000,000	634,028	1,365,972	42巻4号,43巻2,3号製作費
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	0	日本医科大学多摩永山病院へ振込
会議費	100,000	0	100,000	
常任幹事会		0		年2回開催オンライン開催
編集委員会		0		年1回開催
会計監査		0		年1回開催オンライン開催
看護部会運営委員会		0		年2回開催
交通費	150,000	0	150,000	
常任幹事会		0		オンライン開催
編集委員会		0		
事務局		0		
会計監査		0		オンライン開催
看護部会運営委員会		0		
その他		0		
SOS-KANTO	300,000	0	300,000	
会議費		0		
交通費		0		
看護部会シンポジウム	200,000	45,000	155,000	
会議費		45,000		講師謝礼(司会5,000円×1名、シンポジスト10,000円×4名)
交通費		0		オンライン開催
印刷費	180,000	0	180,000	
ホームページ運営費	0	0	0	
事務費	2,410,000	1,945,957	464,043	
通信費	300,000	19,508	280,492	
切手代		17,220		
宅配便代		2,288		名誉会員2名へ額装の宅配便
その他発送費		0		
未支出 業務委託費	2,000,000	1,584,000	416,000	委託先: ㈱Smart119 12万×12ヶ月×1.1=1,584,000円(税込)
消耗品費	100,000	98,064	1,936	事務用品費、封筒作成費
振込手数料	10,000	4,895	5,105	
残高証明書		543		
未支出振込手数料		165		
電子決済利用料	0	238,782	238,782	ロボットペイメント利用料
予備費	50,000	0	50,000	
支出合計	5,590,000	4,824,985		
収支	739,990	2,210,875		
前年度(2021年)繰越金	11,351,951	11,351,951		
次年度(2023)繰越金		13,562,826		

各年度末・年会費納入率(参考)	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
幹事	82.7%	78.0%	82.0%	78.0%
一般	64.8%	75.0%	72.0%	77.0%
全体	70.6%	76.0%	75.0%	77.0%

2022年度	納入済(%)	未納(%)	計
幹事	82.7%	17.3%	100.0%
一般	64.8%	35.2%	100.0%
全体	70.6%	29.4%	100.0%

2022年度	納入済(名)	未納(名)	計
幹事	255	91	346
一般	421	304	725
全体	676	395	1071

2022年度納入方法別	カード決済	振込	計
名	585	171	756
%	77.4%	22.6%	100.0%

電子決済利用明細

	【預り金】カード決済額			月集計
	幹事 ¥10,000	一般 ¥5,000	看護部会 ¥2,000	
6月	¥20,000	¥0	¥0	¥20,000
7月	¥940,000	¥595,000	¥0	¥1,535,000
8月	¥500,000	¥275,000	¥0	¥775,000
9月	¥410,000	¥325,000	¥0	¥735,000
10月	¥40,000	¥170,000	¥0	¥210,000
11月	¥340,000	¥325,000	¥14,000	¥679,000
12月	¥100,000	¥60,000	¥18,000	¥178,000

合計 ¥4,132,000

S119→事務局へ振込

	【控除①】カード会社		【控除②】決済システム会社				【控除③】銀行	月集計
	手数料	消費税	システム利用料	売上処理料	取消処理料	消費税	振込手数料	
6月	¥630	¥63	¥12,000	¥10	¥10	¥1,202	¥605	¥14,520
7月	¥46,765	¥4,676	¥12,000	¥1,065	¥5	¥1,307	¥605	¥66,423
8月	¥23,825	¥2,382	¥12,000	¥525	¥5	¥1,253	¥605	¥40,595
9月	¥22,515	¥2,251	¥12,000	¥530	¥0	¥1,253	¥605	¥39,154
10月	¥6,440	¥644	¥12,000	¥190	¥0	¥1,219	¥605	¥21,098
11月	¥20,686	¥2,068	¥12,000	¥530	¥5	¥1,253	¥605	¥37,147
12月	¥5,337	¥533	¥12,000	¥155	¥0	¥1,215	¥605	¥19,845

合計 ¥238,782

事務局→S119へ振込

監査報告書

日本救急医学会関東地方会の 2022 年度（2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日）における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2022 年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2023 年 1 月 31 日

日本救急医学会関東地方会

監事 河野元嗣 

監事 武田京和 

第 73 回日本救急医学会関東地方会総会・学術集会
第 60 回救急隊員学術研究会〈同時開催〉

第 73 回総会会長 畝本恭子

会期：2023 年 2 月 18 日(土)

会場：京王プラザホテル八王子（〒192-0083 東京都八王子市旭町 14-1）

開催形式：現地開催

テーマ：救急医療が護る‘機能’

1 開催時刻：2023 年 2 月 18 日（土）8：30～18：00

- ・ 救急隊員学術研究会 8：30～17：20
- ・ 医師部会・看護部会 8：50～18：00

2 会場数：医師部会・看護部会：4 会場

救急隊部会（救急隊員学術研究会）2 会場

3 医師部会

- ・ 教育講演① 専門医共通講習（倫理）「急性期領域で ACP とどう関わるか？」 東京ベイ浦安市川医療センター救急集中治療科（集中治療部門） 則末泰博先生
- ・ 教育講演② 救急科領域講習 「脳を護る治療戦略」 国際医療福祉大学成田病院 脳神経外科 末廣栄一先生
- ・ シンポジウム 1：COVID-19 パンデミック下の救急医療を護るために一できたこと、できなかったこと、次にやるべきこと
- ・ シンポジウム 2：「病院前から専門治療まで 一救急医療が護る循環器診療」
- ・ シンポジウム 3：「病院前から専門治療まで 一救急医療が護る脳卒中診療」
- ・ SOS-KANTO2017 報告会+SOS-KANTO 全体会議

（今回、「関東災害医療連絡会議」は行いません）

4 看護部会：

- ・ シンポジウム：「「特定行為」をどう活かすかー現場と教育」

5 医師部会・看護部会一般演題： 19 セッション 139 演題

6 救急隊部会（救急隊員学術研究会） 別紙（報告事項6）参照

7 ランチョンセミナー

- ・ ランチョンセミナー1：「プレホスピタル DX 最前線」
共催：TXP Medical 株式会社
- ・ ランチョンセミナー2：「直接作用型第 Xa 因子阻害薬中和剤オンデキサへの期待～実臨床での使用報告を含めて～」
共催：アストラゼネカ株式会社
- ・ ランチョンセミナー3：「頭部外傷・脳卒中後てんかんにおける治療戦略」 共催：エーザイ株式会社
- ・ ランチョンセミナー4：「Rescue Stroke 救急診療におけるダイバーシティ」 共催：日本ストライカー株式会社
- ・ ランチョンセミナー5：「苦手克服！どの診療科目で働く誰もが遭遇する心電図の読み方～その判読、本当に正しいですか？～」
協賛：フクダ電子東京西販売株式会社

以上

救急隊部会・関東 MC 連絡会議

救急隊部会・関東 MC 連絡会議担当 畝本恭子

- 1) 救急隊員学術研究会（救急隊部会）世話人会
（2022 年 6 月 29 日の開催以降開催なく、メールで検討）

以下、前回開催より追加事項

① 第 60 回救急隊員学術研究会

日時：2023 年 2 月 18 日（土） 8：30 開会

場所：京王プラザホテル八王子（〒192-0083 東京都八王子市旭町 14-1）

概要：

- 教育講演：「研究をはじめめるための第一歩 漠然とした疑問を具体的にする方法」
- シンポジウム：「救急現場における DNAR」
- パネルディスカッション：「多数傷病者・大規模災害発生時の対応」
- 一般演題 5 セッション 31 演題

17：20 閉会予定

2) 関東 MC 協議会連絡会議

今回は開催見合わせます。

（ハイブリッドではなく、不確定要素のため）

備考)

- ① 救急隊員学術研究会において、一般演題発表者は、参加費を免除となっています。
- ② 救急隊員学術研究会において公務として来院する場合、参加費は救急隊部会が取りまとめて前払い振込。

関東災害医療検討委員会／関東災害医療連絡会議

関東災害医療検討委員会／関東災害医療連絡会議担当 根本学
委員会としては、活動なし。

以上

『日本救急医学会関東地方会雑誌』制作報告

編集担当 根本学

1) 論文投稿数

全投稿数：53 編〔医師部会：46 編，看護部会：5 編，救急隊員学術研究会：2 編〕
(うち 7 編は 2022 年学会発表論文以外)

	件数	備考
2022 年 学会全発表数	237 件 (医師部会：187 件，看護部会：24 件， 救急隊員学術研究会：26 件)	投稿率：19.4%
辞退・未着	191 編	
2022 年 発表論文投稿数	46 編 (医師部会：39 編，看護部会：5 編， 救急隊員学術研究会：2 編)	

【参考：投稿率の推移について】

	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
学会発表数	295	224	270	261	233	-	237
辞退・未着	208	166	224	212	176	-	191
投稿数	87	58	46	49	48	-	46
投稿率	29.5%	25.8%	17.0%	18.8%	20.6%	-	19.4%

2) 掲載論文数

	43 巻 3 号 (6 月)	43 巻 4 号 (12 月)	44 巻 2 号 (3 月予定)	査読継続
掲載 論文数	7	34	5*	17***
内訳	医師部会：7 看護部会：0 救急隊員：0	医師部会：31 看護部会：2 救急隊員：1	医師部会：4* 看護部会：1 救急隊員：0	医師部会：9 看護部会：6 救急隊員：2

*2023 年 1 月 16 日時点での採用数

***2022 年投稿論文 10 編を含む

3) 編集スケジュール

2 月 18 日 日本救急医学会関東地方会学術集会

～3 月 論文投稿依頼 (学会発表者に投稿依頼)

3 月末 44 巻 2 号刊行予定

6 月末 44 巻 3 号刊行予定

12 月末 44 巻 4 号刊行予定

以上

第 74 回日本救急医学会関東地方会
第 61 回救急隊員学術研究会（予定）

第 74 回総会会長 根本学

会期：2024 年 2 月 17 日(土)

会場：埼玉会館・埼玉県県民健康センター（2 会場）

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町 3-5-1
TEL 048-824-4801

JR 東北本線「浦和駅」西口より車 4 分・徒歩 11 分



会長：根本学（埼玉医科大学国際医療センター 救急医学・救命救急科）

学術集会運営事務局：株式会社ドウ・コンベンション

担当：中村 泰明・古井 芳枝

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町 2-23

アクセスお茶の水ビル 5F

TEL：03-5289-7717 FAX：03-5289-8117

E-mail:gakkai@doc-japan.com

テーマ：『守・破・離』

『守・破・離』とは、剣道や茶道などで、修業における段階を示したもの。
「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身につける段階。
「破」は、他の師や流派の教えについても考え、良いものを取り入れ、心技を
発展させる段階。
「離」は、一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階。

「千日(せんじつ)の稽古をもって 鍛(たん)となし、 万(まん)日(じつ)の稽古をも
って 錬(れん)となす」 剣豪 宮本武蔵

※千日は約 3 年、万日は約 30 年

専門医取得は 3 年間のプログラム（カリキュラム）による鍛が必要。
指導医になるには 10 年間の実績が必要であり、習得後も錬を重ね、社会貢献に
身を捧げる。

以上

守

義

仁

破

礼

誠

護



北辰一刀流
尾舟 小川 金之助先生

第74回 日本救急医学会関東地方会学術集会

第61回 救急隊員学術研究会

2024年2月17日(土)

同日開催

会場

埼玉県県民健康センター
埼玉会館

会場

根本学

(埼玉医科大学国際医療センター)
救急医学・救命救急科

事務局

事務局長: 岸田 全人
埼玉医科大学国際医療センター救命救急センター
〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1
TEL: 042-984-4127 / FAX: 042-984-4155

運営事務局

株式会社ドウ・コンベンション

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23、5F
TEL: 03-5289-7717 / FAX: 03-5289-8117
E-mail: jaam74kantou-office@umin.ac.jp

<http://jaam74kantou.umin.ne.jp/>

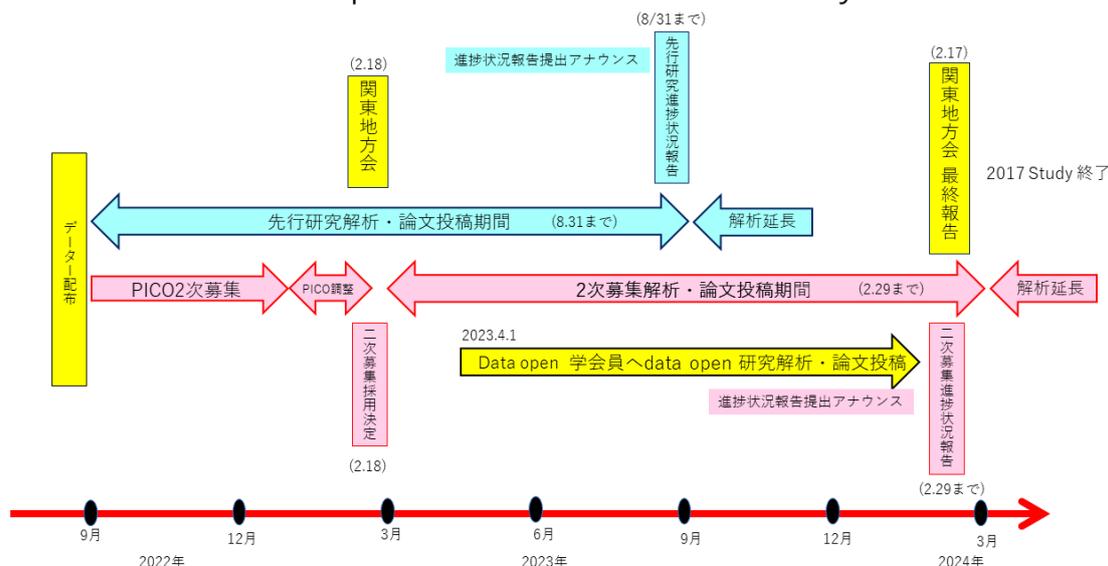
SOS-KANTO2017 Study 委員会報告

SOS-KANTO 担当 中田孝明

- ・2021年3月に症例集積が終了。Data クリーニングを開始したが、参加施設の担当者が異動するなどのため、修正に時間を要したことや倫理委員会の承認を失念していた施設もあったことから、最終参加施設は41施設となり、登録症例数は9909例となった。
 - ・いくつかの研究者は統計手法に関しては東京大学臨床疫学・経済学教室のご協力を得て解析を開始している。
 - ・2022年9月1日から2022年12月31日までPICOの2次募集を行なったところ、16編のPICOの応募があり、重複なきことを確認、採用予定である。
 - ・先行研究の解析期間は2023.8.31まで。それまでに進捗状況報告を提出することを義務付け、その結果により、解析延長の判断をする。
 - ・2次募集の解析期間は2023.3.1から2024.2.29まで、同様に解析延長の判断を行う。
 - ・2017 dataは2023.4.1より、関東地方会学会員にオープンされる。
- ※data解析には必要書類（データ利用許可申請書など）の申請が必要、オープン時にアナウンス予定
- ・2023.2.29の2次募集の解析期間終了をもって2017委員会は終了とする。

・論文文化にあたってのauthorshipはICMJEガイドラインに従い、筆頭著者1)、施設内の直接指導者2)、SOS-KANTO委員会委員長3)、PICO担当班長4) data cleaning 5)、統計解析6)、解析統計7)、関東地方会8)、その他著者条件を満たす貢献者9) (著者順は、責任著者に一任)
例：○○○○1)、○○○○2)、Nobuya Kitamura3)○○4)、Takashi Tagami 5)、Hideo Yasunaga 6)、Shotaro Aso 7)、Munekazu Takeda 8)、and on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Groupとする。

Road Map of SOS-KANTO 2017 Study



以上

日本救急医学会学生研修医部会関東支部

日本救急医学会学生研修医部会関東支部担当 中田孝明

日本救急医学会学生研修医部会関東支部（以下 **SMAQ** 関東ブロック）では救急医療の裾野を広げていくことを目的として活動を行っている。

新型コロナウイルスの流行を背景としてその活動は主にオンラインを中心としたものとなっている。

以下 **SMAQ** 関東ブロックにおける近年の活動について列記する。

2021年4月22日

日本救急医学会関東地方会に向けた
日本救急医学会関東地方会スタッフ、**SMAQ** 関東ブロックスタッフ合同キックオフミーティング施行

2021年11月6日

第5回 **SMAQ** 関東ブロックオンライン企画『COVID診療を現場の先生とシュミレーションしてみよう』

2022年2月26日

第72回日本救急医学会関東地方回学術集会 **SMAQ** セッション
『様々な道がある！救急医達によるキャリア相談会』
『初期臨床研修医・学生のための症例プレゼンテーション』

2022年6月13日

第6回 **SMAQ** 関東ブロックオンライン企画『キャリア相談会～QQ Questions』

2022年7月23日

第7回 **SMAQ** 関東ブロックオンライン企画『ショックだから、どうする？』

2022年10月19日～21日

第50回日本救急医学会総会・学術集会 学生研修医セッション
『日本救急医学会学生・研修医部会（**SMAQ**）の活動と今後の展望』

2023年2月19日（予定）

第8回 **SMAQ** 関東ブロックオンライン企画『ERってどんなところ？』

2023年夏頃(予定)

第6回全国医学生 BLS 選手権大会 関東予選

2023年11月28日（予定）

第6回全国医学生 BLS 選手権大会 決勝大会

以上

日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

ホームページ担当 中田孝明

1. ホームページ更新情報について（関連学会案内の更新を除く）

【2022 年 1 月】

役員選挙公告(22.1.14)を掲載しました。

【2022 年 2 月】

なし

【2022年 3 月】

役員一覧(22.3.14)を更新しました。

事務局(22.3.14)を更新しました。

発表演題 論文ご投稿のお願い(2022.3.22)を掲載しました。

【2022年 4 月】

会員事務手続き(22.4.22)の申請用紙を更新しました。

幹事申請手続き(22.4.22)の日付を更新しました。

常任幹事・監事立候補申請手続き(22.4.22)の日付を更新しました。

入会申込書・送付先・年会費免除申請書(22.4.22)を更新しました。

【2022年 5 月】

学術集会・今後の予定(22.5.10)を更新しました。

【2022 年 6 月】

『日本救急医学会関東地方会雑誌』43 巻 3 号公開のお知らせ(2022.6.30)を掲載しました。

【2022 年 7 月】

幹事名簿を更新しました。(22.7.7)

会員向けマイページを公開しました。(HOME にボタン追加、2022.7.19)

新幹事公募のお知らせ(2022.7.22)

役員選挙のお知らせ(2022.7.22)

学術集会のお知らせ(2022.7.22 更新)

幹事名簿(354 名、2022 年 2 月 26 日承認、7 月 22 日更新)を更新しました。

会員事務手続きを更新しました。(会員マイページを追加、2022.7.22 更新)

入会案内を更新しました。(会員マイページを追加、2022.7.22 更新)

リンクを更新しました。(2 リンクを更新、2022.7.22 更新)

【2022 年 8 月】

会則の事務局を更新しました。(22.8.3)

新幹事の立候補〆切:2022/12/31 に変更しました。※2022 年度完納が立候補の要件とする(22.8.3)

関東救急看護認定看護師会主催セミナーのお知らせ(2022.8.7 更新)を掲載しました。

今後の開催予定を更新しました。(22.8.19)

【2022 年 9 月】

新着情報を更新しました。(22.9.12)

SOS-KANTO 2017 について更新しました。(22.9.12)

【2022 年 10 月】

なし

【2022 年 11 月】

看護部運営委員会主催シンポジウムのお知らせ(2022.11.1 更新)を掲載しました。

【2022 年 12 月】

なし

以上

第72回 日本救急医学会関東地方会学術集会
第59回 救急隊員学術研究会
収支報告書

収入の部

項目	金額	備考
参加費収入	5,290,000	医師377名、看護師62名、 救急隊員227名、その他15名
セミナー共催費	2,400,000	3社
広告掲載費	500,000	5社
寄付金	300,000	1社
学会補助金	2,200,000	
預金利息	27	
合計	10,690,027	←12 から修正

支出の部

項目	金額	備考
1. 事前準備企画費		
事務局運営	1,650,000	
管理システム構築	3,465,000	
ホームページ作成	660,000	
Web会議システム利用料	216,700	Zoom
電子決済システム利用料	154,000	ロボットペイメント
記念品代	495,000	QUOカード
2. 当日運営費		
オンライン配信	2,750,000	
レンタルPC利用料	187,000	
人件費	962,000	
会場用資材	104,500	
通信費	44,000	
3. 事後処理費		
振込手数料	880	(株)Smart119、学会
4. その他費用		
学会補助科目返金	947	←52
合計	10,690,027	←1,760 から修正 から修正

第72回 日本救急医学会関東地方会学術集会
第59回 救急隊員学術研究会
会長 中 田 孝 明

看護部会

看護部会担当 浅香えみ子

1. シンポジウム

開催日時：R4 年 12 月 10 日 14 時～16 時

テーマ：「コロナ禍に変化した救急看護領域の新人教育と課題」

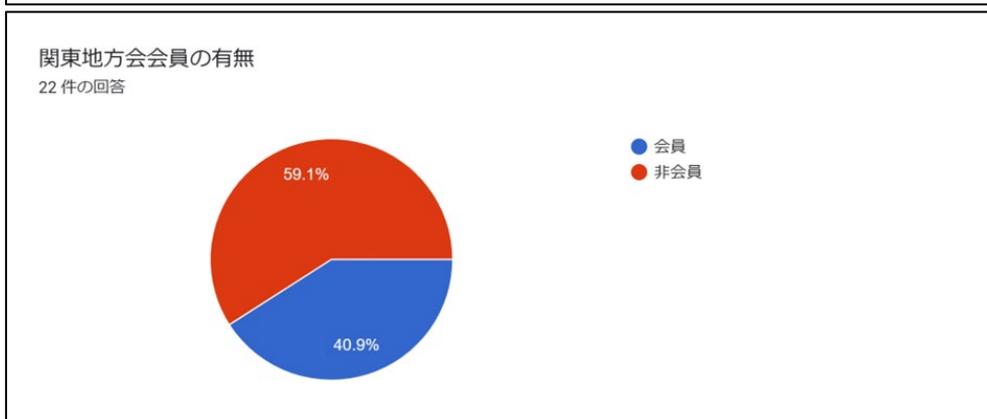
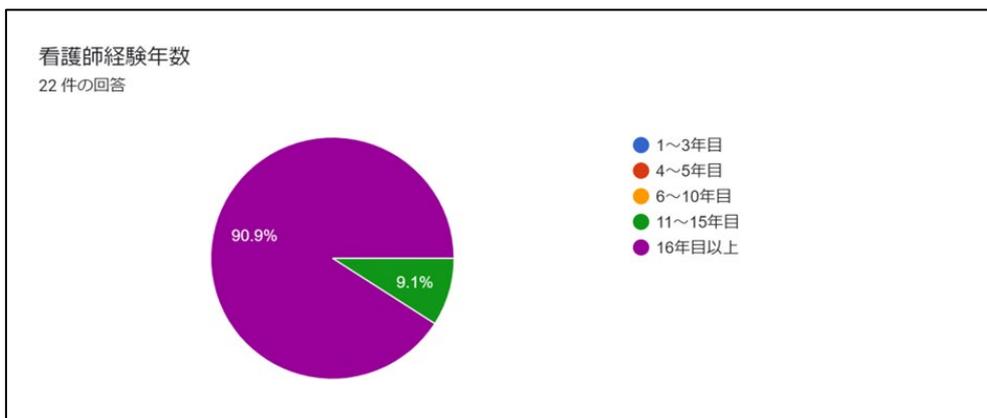
開催方法：ZOOM

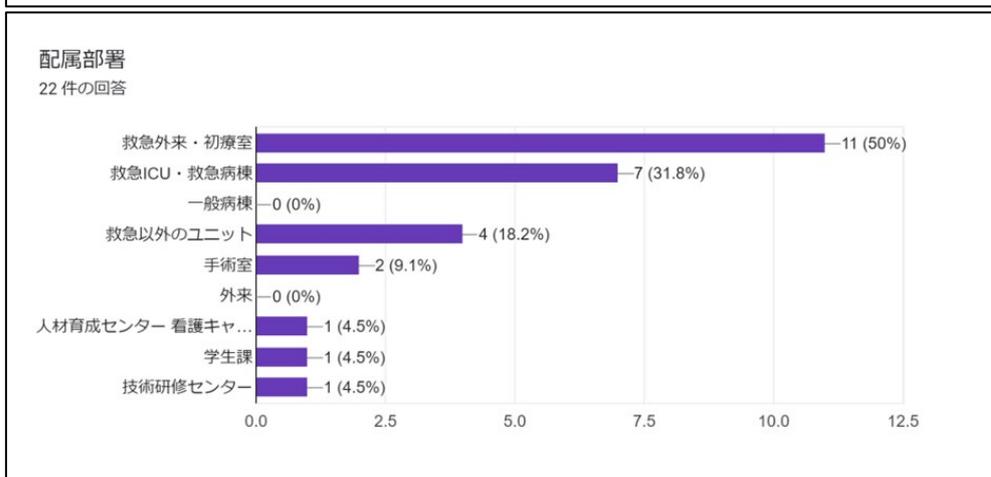
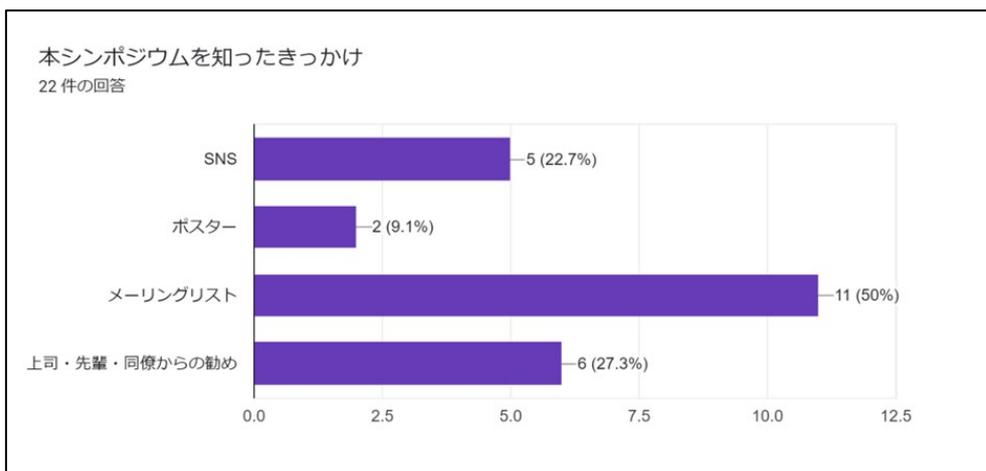
参加者数：一般 18 名 演者 5 名 運営者 4 名

収支：予算 200,000 円、
参加費 2,000 円×18 名=36,000 円

支出：謝金 45,825 円

残金：190,175 円





2. 施設代表者会議

開催日時：R4 年 7 月 10 日 18 時～19 時

議事内容：学術集会において取り上げ欲しいテーマについて
希望する研修会テーマについて

参加者数：15 名

会議結果を学術集会およびシンポジウムに情報共有した。

以上

日本救急医学会関東地方会 2023年度予算(案)

庶務担当 中村光伸

【収入の部】

科目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	
会費収入	6,400,000	5,229,780	5,680,000	幹事80%、一般80%：計80%
雑収入				
銀行預金利息	10	12	10	昨年度予算
補助金	200,000	200,000	200,000	救急医学会より地方会補助金
その他(1)	50,000	14,000	50,000	別刷代 ※不確定
その他(2)	200,000	36,000	200,000	看護部会シンポ ※不確定
その他(3)	0	947	0	学術集会余剰金 ※不確定
その他(4)	0	1,555,121	0	学術集会余剰金 ※不確定
収入合計	6,850,010	7,035,860	6,130,010	

【支出の部】

科目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	※H P 運営費削除
事業費				
刊行費	2,000,000	634,028	1,500,000	
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	2,200,000	親会20万、地方会事務局200万
会議費	100,000	0	50,000	昨年度比50%
交通費	150,000	0	75,000	昨年度比50%
印刷費	180,000	0	30,000	幹事会資料の印刷代200部
SOS-KANTO	300,000	0	300,000	昨年度予算
看護部会シンポ	200,000	45,000	200,000	昨年度予算
事務費				
通信費	300,000	19,508	30,000	
業務委託費	2,000,000	1,584,000	1,590,000	※固定
消耗品費	100,000	98,064	100,000	昨年度予算
振込手数料/残高証明書	10,000	5,603	10,000	昨年度予算
電子決済利用料	0	238,782	400,000	800名×平均手数料500円と想定 ※不確定
予備費	50,000	0	50,000	昨年度予算
支出合計	7,590,000	4,824,985	6,535,000	
収支	△ 739,990	2,210,875	△ 404,990	
前年度繰越金	11,351,951	11,351,951	13,562,826	
次年度繰越金	10,611,961	13,562,826	13,157,836	

名誉会員の推戴について

令和5年（第73回日本救急医学会関東地方会）幹事会 名誉会員推戴候補者

（敬称略 五十音順）

<現・幹事>

氏名	役員歴	所属先	ご意向
小野 一之	第67回 H29 会長	獨協医科大学 救急医学	○
坂本 哲也	第63回 H25 会長 H25年2月17日～ H28年2月6日①監事 H28年2月7日～ H31年2月 ②監事	帝京大学医学部 救急医学講座	○
藤島 清太郎	H25年2月17日～ H28年2月6日 常任幹事	慶應義塾大学医学部 総合診療教育センター	○

※2022年12月31日時点で65歳以上かつ役員経験者を調査。2023年に66歳/1957年 昭和32年生まれ。

※次回対象：該当者なし※2024年に66歳/1958年 昭和33年生まれ。

<現・一般会員>

氏名	役員歴	所属先	
明石 勝也	H13年2月11日～ H16年3月6日 常任幹事	聖マリアンナ医科大学 理事長室	辞退

幹事会のご出欠：

ご出席 坂本 哲也先生

ご欠席 小野 一之先生・藤島 清太郎先生

日本救急医学会関東地方会会則 （抜粋）

第3章 会員

（構成）

第5条 本会は、次の会員によって構成する。

- (2) 名誉会員：本会の発展に特に功労のあった者で、別に定める細則により推薦され、承認された者

<<中略>>

（任期）

第14条 役員任期は、次のとおりとする。

- (1) 常任幹事および監事の任期は、3年とし再任を妨げないが、連続して2期を超えてはならない。
- (2) 常任幹事および監事の任期は、選任された幹事会の翌日から3年後の幹事会の日までとする。
- (3) 会長の任期は、前回の学術集会終了の翌日から当該学術集会終了の日までとする。
- (4) 補充によって選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- (5) 役員が幹事でなくなった場合は、役員資格を失う。

<<中略>>

第 5 章 幹事

(幹事の選任、職務、任期、定年)

第 15 条 幹事は、別に定める細則により、正会員の中から選任する。

2 幹事は、幹事会を組織し、学会運営に関する事項を審議する。

3 幹事の任期は定めない。

4 幹事の定年は、満 65 歳とし、任期は定年に達した年の 12 月 31 日までとする。

日本救急医学会関東地方会会則施行細則 (抜粋)

第 5 章 名誉会員

第 21 条 名誉会員は、常任幹事が推薦し、幹事会の承認を要する。

第 22 条 名誉会員は、幹事会に出席し、意見を述べることができるが、議決に加わることは出来ない。

2 名誉会員の推戴要件は、以下の通りとする。

- (1) 役員経験者であること
- (2) 65 歳以上であること
- (3) 本人に名誉会員となる意思があること

名誉会員推戴者一覧

饗場 庄一	荒木 駿二	上田 守三	上松瀬勝男
小林 國男	佐々木仁也	島崎 修次	杉山 貢
鈴木 忠	高橋 愛樹	中江 純夫	中野 達也
平澤 博之	前川 和彦	松田 博青	茂木 正壽
矢崎 誠治	山本 保博	渡辺 晃	相川 直樹
小池 莊介	林 成之	辺見 弘	山中 郁男
芦川 和高	大和田 隆	野口 照義	山本 修三
石田 清	市来寄 潔	梅園 明	葛西 猛
黒川 顯	都築 正和	中田 義隆	原口 義座
針谷 英世	大橋 教良	相馬 一亥	長尾 建
益子 邦洋	有賀 徹	堀 進悟	兼坂 茂
行岡 哲男	堤 晴彦	石川 雅健	猪口 貞樹
渋谷 正徳	横田 裕行	田中 裕	中野 実

53 小野 一之 54 坂本 哲也 55 藤島 清太郎

(全 55 名、名誉会員番号順、物故者を含む)

第 75 回日本救急医学会関東地方会・
第 62 回救急隊員学術研究会（予定）

会期：2025 年

会長：日本大学医学部救急医学系
救急集中治療医学分野 木下浩作先生

〒173-8610
東京都板橋区大谷口上町 30-1
電話 03-3972-8111（代表）
URL: <https://nihon-eccm.com/>

会場：東京都内

学術集会事務局：未定

テーマ：未定

※会期決定次第、関東地方会ホームページへ掲載予定

その他

事務局

1.会則変更について

(現在)

第 17 条 幹事会は、幹事および名誉会員で構成する。

2 常任幹事長は、学術集会中に幹事会を招集し議長の職務を行う。

↓

(改訂後)

第 17 条 幹事会は、幹事および名誉会員で構成する。

2 常任幹事長は、学術集會会期終了、あるいは、3 月 31 日までに幹事会を招集し議長
の職務を行う。

2.救急隊員の関東地方会入会について

発表者(共同発表者含む)が入会すべきかあいまいな状態となっているため、下記の通り明文化する。

<救急隊員の入会>

学術集会の発表者(共同発表者含む)・抄録(地方会雑誌 1 号):非会員も可
地方会雑誌(2~4 号)に掲載する場合:会員資格を有する

※研究会の発表者(共同発表者含む):入会不要

とホームページ入会案内の<備考>へ記載する。

[入会案内：日本救急医学会 関東地方会 \(umin.ac.jp\)](http://umin.ac.jp)

3.年会費免除について

2 月の学術集会で発表予定があり、2023 年 4 月より救急科専門医研修選考医プログラム
ム初年度の場合

→2022 年度：免除・2023 年度：支払い※現在はこちらの対応

(現在) 第 3 章 会員 第 7 条

会員は、別に定める年会費を納入しなければならない。

2 救急科専門研修専攻医はプログラム登録初年度に限り会費を免除する。

↓

(修正後)

2 初期臨床研修医、医師免許取得後 3 年以下は、初年度年会費を免除する。

会則変更とホームページ入会案内の<備考>へ記載する。

[入会案内：日本救急医学会 関東地方会 \(umin.ac.jp\)](http://umin.ac.jp)

<備考>削除：救急科専門研修専攻医はプログラム登録初年度に限り会費が免除となります。基幹施設
の専門研修プログラム統括責任者の署名を添えてお申し込み下さい 基幹施設名を添えて事務局までご
一報下さい(所属基幹施設確認は事務局で行います) (会則第 7 条 2 項, 2018 年 1 月 28 日より改正施

行、2019 年 8 月より手続きを簡素化しました)。

- ・入会届に、「医師免許取得年」を追加
- ・ホームページ入会案内より削除

なお、救急科専門医研修選考医はプログラム初年度に限り年会費が免除されます。登録施設名を、入会用紙の所定欄にご記入の上、[年会費免除申請書](#) (会則第 7 条 2 項規定) を事務局へメールにてお送りください。

4.口座の変更について

背景：開設口座の代表者名がご高齢の先生のご尊名となっているため
ゆうちょ銀行の残金をりそな銀行へ移行し、口座を一本化する。りそな銀行へ今回の議事録を提出し、常任幹事長名 (井上先生) に名義変更する。
※常任幹事長は 3 年任期のため、交代時に名義変更する。

- ・りそな銀行口座に移行後、ゆうちょ銀行口座を閉鎖。
- ・入会届に記載の振込口座をりそな銀行口座に修正する。

5.学術集会当日の入会 (年会費支払方法) について

QR コード読み取りでクレジットカード決済の支払方法をご用意する。

- ・一般会員 5,000 円(新入会、未納者)
- ・幹事会員 10,000 円(未納者)

【事務局からのお願い】

2022 年度より、各種お知らせ・ご案内をメールでお送りしております。

「メールで受信していない」という方は、いずれかお願いいたします。

- ①下記 QR コードよりご提出
- ②事務局受付までお寄りいただく
- ③事務局アドレスまでメールでご連絡ください。qq_kanto@smart119.biz

※メールアドレスをお預かりしていない幹事の方が 30 名いらっしゃいます。
何卒よろしくお願い申し上げます。

▽メールアドレスご提出 QR コード



以上